

地域連携による新たなイノベーション創出を目指し 横浜国立大学が新湘南共創キャンパスを設置

令和5年12月1日
国立大学法人横浜国立大学

国立大学法人横浜国立大学(神奈川県横浜市、学長 梅原 出)は、ヘルスイノベーション最先端拠点形成に向けたヘルステクノロジー研究の推進や実証実験、人材育成活動、ステークホルダーとの共創活動等を充実させるため、去る11月15日に湘南ヘルスイノベーションパーク(神奈川県藤沢市、以下「湘南アイパーク」)内に、新湘南共創キャンパスを設置いたしました。

今後、新湘南地域(藤沢市村岡、鎌倉市深沢および周辺地区と定義)の様々なステークホルダーと連携し共創活動を進めることで、最先端かつ学際的な研究による新たなイノベーションの創出を目指すとともに、地域での実践的教育の展開を通してイノベティブ人材育成を促進することで、社会に貢献してまいります。

【主な活動内容について】

- (1) 湘南アイパーク(アイパークインスティテュート(株)運営)を会場としたヘルスケアイベントの開催
- (2) 総合学術高等研究院“次世代ヘルステクノロジー研究センター”における医工連携研究活動
- (3) 実践的教育(副専攻プログラム地域課題実習等)や ROUTE による人材育成活動
- (4) 周辺ステークホルダーとの共創活動の拠点
- (5) JST 共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)の活動拠点



【湘南アイパーク外観】



【新湘南共創キャンパス入口】

【横浜国立大学】

横浜国立大学は、四つの旧制学校を母体に 1949 年に新制大学として設立した総合大学で、建学以来の歴史の中で育まれてきた「実践性」「先進性」「開放性」「国際性」を理念として掲げるとともに、一人一人の在り方を尊重し合う「多様性」を重んじています。

本学は、横浜市保土ヶ谷区常盤台に 5 学部・6 大学院を有し、多様な専門性を有する教員が集い、高度な教育研究を推進しております。また、地域のイノベーション創出の中心的役割を果たすため、実践的で学際的な教育研究を地域等の多様なセクターと分野を超えて連携しながら展開するためのサテライトキャンパスを、新湘南共創キャンパスを皮切りに拡充してきております。これらの活動を通して、「イノベーションの創出・科学技術の発展」等に資する「知の統合型大学」を目指しています。

公式HP: <https://www.ynu.ac.jp/>